



## 資料 2

# 前回会議の振り返り及び コーディネーターの役割・業務内容について

# 1-1 前回会議の振り返り（ロードマップ等）

## 前回会議の議論（ロードマップ）

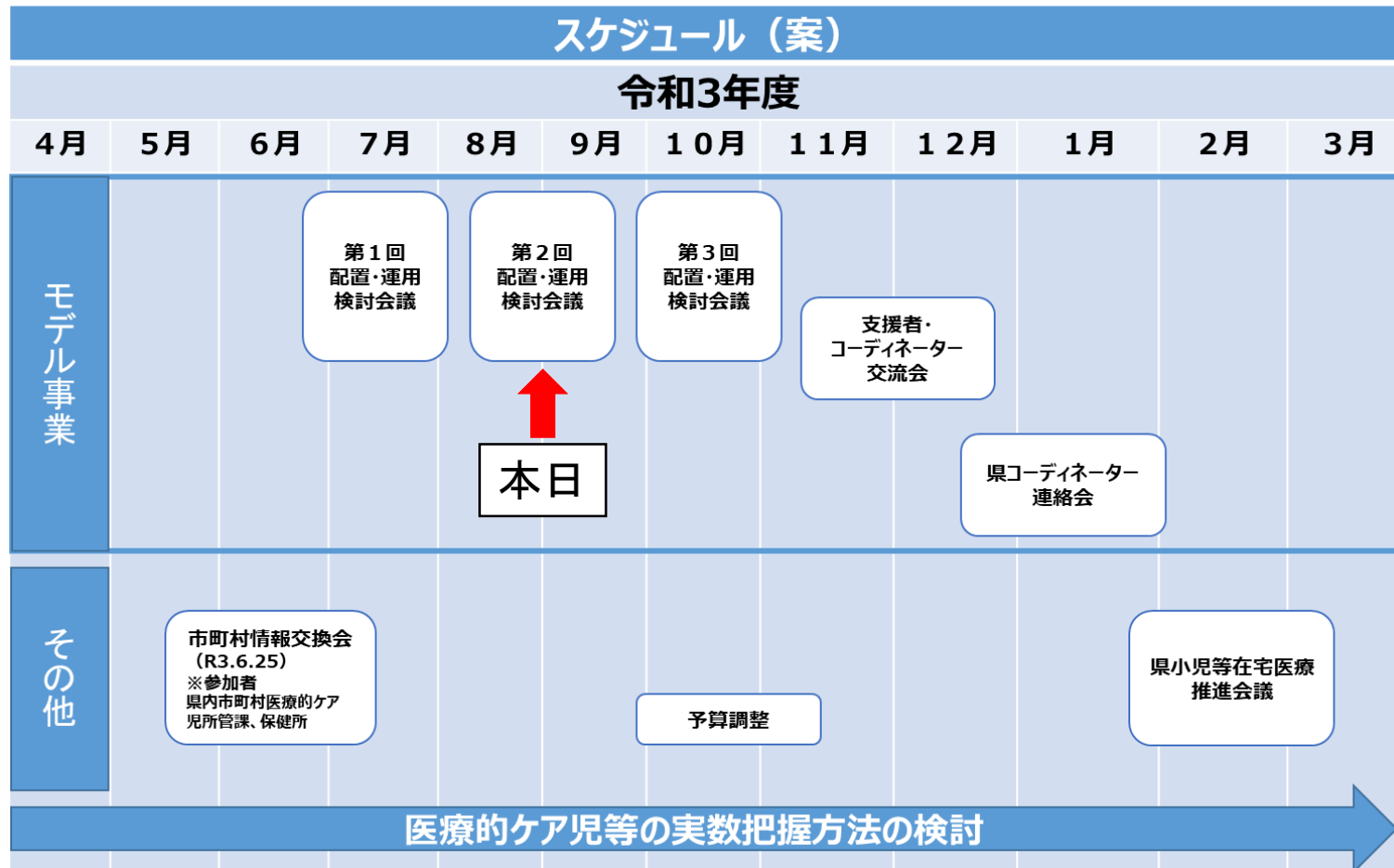
### 【事務局の提案】

事業内容 年度	コーディネーター配置・運用 検討会議	支援者・コーディネーター 交流会	県コーディネーター 連絡会
令和3年度	年3回開催 運用試運転に向け、コーディネーターの役割、業務内容及び運用方法を検討、策定する	年1回開催	年1回開催
↓			
令和4年度 【試行運転開始】	令和3年度の積み残しがあれば実施	未定	未定
	コーディネーター及び支援者のフォローアップを目的にした会議等は必要と考える		
↓			
令和5年度 【自走化】	横須賀・三浦地域において自走化		

# 1-2 前回会議の振り返り（ロードマップ等）

## 前回会議の議論（スケジュール）

### 【事務局の提案】



# 1 - 3 前回会議の振り返り（ロードマップ等）

## 前回会議の議論（各委員からのご意見）

- 運用試運転に向けて、ワーキング等を活用し、細かな調整も必要になるのではないかと
- 国の計画では、令和5年度末までに、コーディネーターを配置することを見込んでいるため、他の地域の配置状況を確認し、並行的に他の地域についても、検討を進める必要があるのではないかと
- 令和5年度の自走化に向けて、具体的な予算額を早急に検討する必要がある

## 2-1 前回会議の振り返り（役割・業務）

### 前回会議の議論（役割について）

#### 【事務局の提案】

医療的ケア児等コーディネーターの役割は主に・・・

- ☞ 各種の相談に対応し、その相談内容から、  
**「適切な各分野のサービス・支援に繋ぐとともに、必要に応じて助言を行う」**
- ☞ 医療的ケア児等とその家族に対して、総合的かつ継続的に支援を提供するため、  
ケース毎に**「多職種連携ができるチーム」**の形成を促し、地域づくりに向けた課題の抽出・共有等を行う
- ☞ さらに、支援ニーズをリアルタイムで把握するため**「モニタリング」**を実施し、  
切れ目ない支援の提供を目指す

# 2-2 前回会議の振り返り（役割・業務）

## 前回会議の議論（業務について）

### 【事務局の提案】

コーディネーターの業務は主に・・・

#### 1 スクリーニング

- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、必要な助言を行う

#### 2 地域づくりに向けた個別課題の抽出・共有及びモニタリング

- ・児とその家族の状態像や課題等を多職種の支援者間で抽出・共有する
- ・また、多職種の支援者間の連携、支援に係る課題等について、情報・意見交換する
- ・さらに、支援者と情報を共有し、医療的ケア児等の支援状況や課題をリアルタイムで把握する

#### 3 行政との連携

- ・各市町村・各圏域に設置されている医療的ケア児等の支援に関する「協議の場」や「児とその家族との交流会」等を通じ、把握した医療的ケア児等の課題を関係機関と共有する

## 2-3 前回会議の振り返り（役割・業務）

### 前回会議の議論（各委員からのご意見）

- 役割・業務の内容は良いと思うが、少し負担が大きいのではないか
- 業務内容について、少し整理が必要ではないか
- 既に似たような取組みを行っている部分もある  
ex.基幹相談支援センター、障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター
- 業務の内容は多いが、地域に医療的ケア児等コーディネーターとして養成された支援者と協力して取組めるような運用方法を検討する必要がある




### 3 コーディネーターの役割・業務内容について

**前回会議での議論を受けて、次のとおり整理**



# 3 - 1 コーディネーターの役割・業務内容について

コーディネーターは前提として・・・

-  **コーディネーターは、地域の支援者等の伴走者として、**
-  **地域の関係者・関係機関に、協力いただきながら活動し、**
-  **業務の中で抽出された課題等を共有し、地域の課題解決に取り組む**

# 3-2 コーディネーターの役割・業務内容について

コーディネーターの業務は、支援者支援と地域支援の二本柱として、下記のとおり整理

## 前回の提案

コーディネーターの業務は主に…

### 1 スクリーニング

- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、必要な助言を行う

### 2 地域づくりに向けた個別課題の抽出・共有及びモニタリング

- ・児とその家族の状態像や課題等を多職種の支援者間で抽出・共有する
- ・また、多職種の支援者間の連携、支援に係る課題等について、情報・意見交換する
- ・さらに、支援者と情報を共有し、医療的ケア児等の支援状況や課題をリアルタイムで把握する

### 3 行政との連携

- ・各市町村・各圏域に設置されている医療的ケア児等の支援に関する「協議の場」や「児とその家族との交流会」等を通じ、把握した医療的ケア児等の課題を関係機関と共有する



## 今回の提案

コーディネーターの業務は主に…

## 個別支援・地域支援の二本柱

### 1 個別支援（受ける・繋ぐ・支える）

- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、支援者に対して助言を行う（支援者への支援）
- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者への継続的な支援を通して、状態像や支援等の状況を把握する（モニタリング）

### 2 地域支援

- ・個別支援を通じて抽出された課題等を、自立支援協議会等の医療的ケア児等の支援を協議する場で共有し、課題解決に向けた協議を行う

# 3 - 3 コーディネーターの役割・業務内容について

## 1 個別支援（受ける・繋ぐ・支える）

- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、支援者に対して助言を行う（支援者への支援）
- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者への継続的な支援を通して、状態像や支援等の状況を把握する（モニタリング）

- ➡ 各種の相談を受け付け（受ける）、各サービス・支援に繋ぎ（繋ぐ）、支援者に対して助言を行う。  
継続的な支援を行い、各ケースの状態像や支援等の状況をモニタリング（支える）

## 2 地域支援

- ・個別支援を通じて抽出された課題等を、自立支援協議会等の医療的ケア児等の支援を協議する場で共有し、課題解決に向けた協議を行う

- ➡ 個別支援を通じて課題等を把握、抽出し、医療的ケア児等の支援にかかる「協議の場」等に参画  
課題等を共有し、地域づくりに向けた協議を行う

## 4 コーディネーターの業務体制について

### 御議論いただきたい点①

## 4-1 コーディネーターの業務体制について

### コーディネーターの相談受付体制（案）

#### 案①：ワンストップ対応

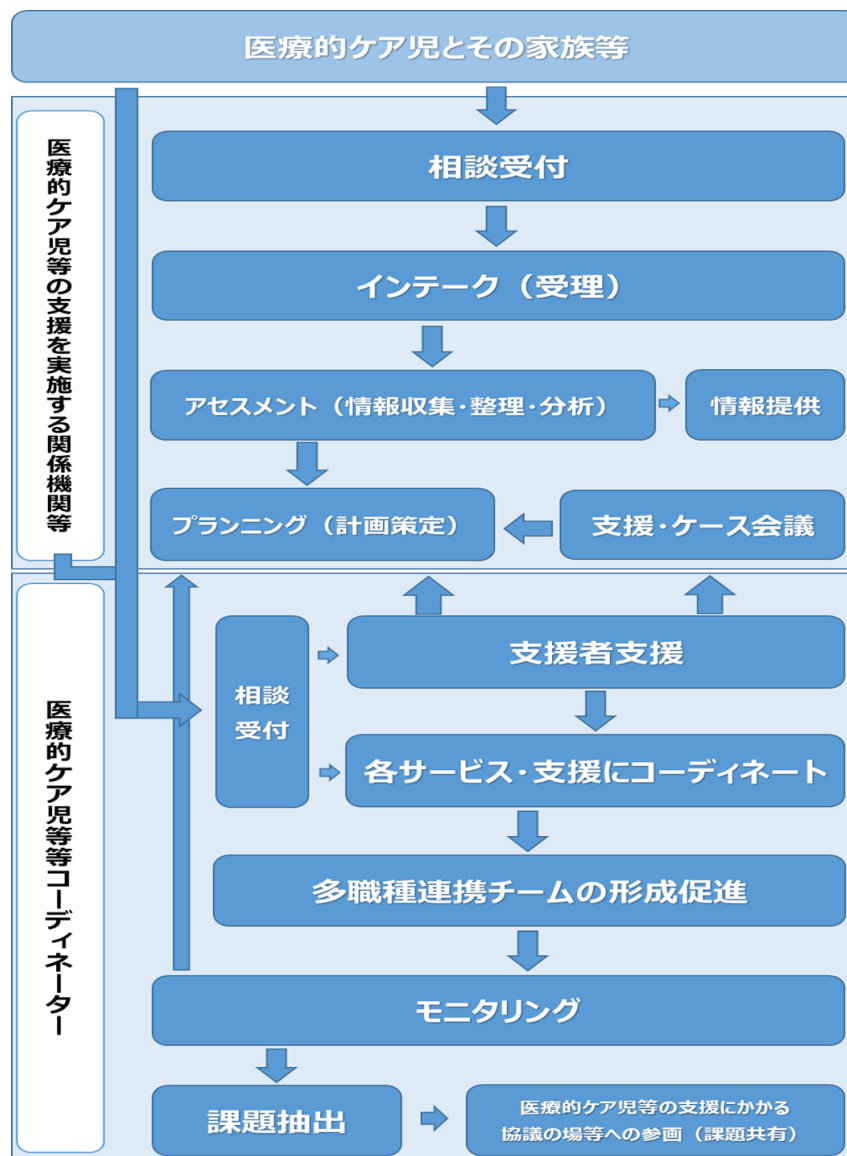
相談窓口を1、2カ所程度設置し、ワンストップで受け付け、その窓口から、地域に配置されたコーディネーターへ繋ぐ  
→ 各種相談の振り分け作業が煩雑か

#### 案②：共有・協議対応

地域に配置されたコーディネーターそれぞれが相談を受け付け、その内容をコーディネーター同士で共有し、対応方針等を協議する  
→ 各種相談について、共有・協議する体制・場が必要になる

## 4-2 コーディネーターの業務体制について

### ◆コーディネーターの業務イメージ図（資料2別紙参照）



## 事務局として想定する論点

横須賀・三浦地域において・・・

- ☞ 相談の受付方法として、どちらが適切か  
→ 実現するために、必要なことは何か
- ☞ 業務フロー図は、コーディネーターの業務がイメージしやすいものになっているか